

第51回海洋開発シンポジウム(2026)

企画討論会

『有明・八代海の海域環境の 現状と今後に向けて』

2026年7月1日(水) 15:30 ~ 17:30

【主旨】

本討論会では、有明・八代海の海域環境におけるこれまでの成果と現状を捉え直し、今後の再生に向けた課題と対応策を議論する。特に、巨大化・頻発化する豪雨や陸域からの淡水流入(質・量の変化)が干潟環境へ与える影響や、温暖化への将来対応を熟考し、災害対応と環境調和を前提とした取り組みの必要性を提示する予定です。

オーガナイザー： 滝川 清 氏 (熊本大学名誉教授)

1. 開会、主旨説明

2. ご講演

「熊本港湾における話題提供、出水(集中豪雨)による海域への影響と調査の必要性」
国土交通省 九州地方整備局 熊本港湾・空港整備事務所長 佐藤 鉄志 氏

「有明海・八代海等の環境全般、評価委員会報告でのとりまとめの状況」
環境省 水・大気環境局 海洋環境課 海域環境管理室長 西川 絢子 氏

「魚類から見た有明・八代海、トップダウン方式による生態系構造」
長崎大学 総合生産科学域(水産学系)教授 山口 敦子 氏

「これまでの再生への取り組み事例紹介(大学研究、行政調査、NPO活動等)」
いであ株式会社 国土環境研究所 環境計画部 上席研究員 川岸 寛 氏

3. パネルディスカッション

4. 閉会

後援:



NPO法人 みらい有明・不知火
地域住民・NPO・行政の協働による地域づくり



熊本県沿岸域再生官民連携フォーラム